

乳がん 高度検診・治療センター NEW-す NO.46

2018.3

乳房の再建について

乳がんの手術に際し、高い治癒率と同じくらい術後も乳房の形が美しいこと 日常生活で乳房の喪失を感じないことが大切であると、当センターでは考えています。最近では乳房の喪失感が少ない一次再建(同時再建)が以前より安全に行えるようになり選択される方が増えています。

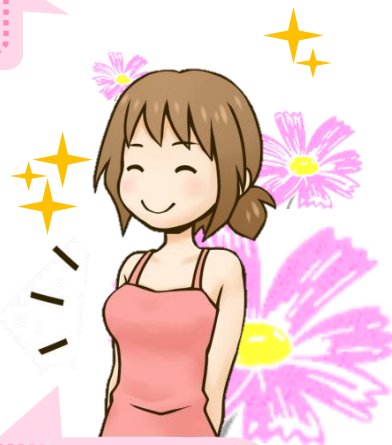


Q1. 乳がんの一次再建とはどういうものですか？ 誰でも受けられますか？

一次再建では、乳がんの切除手術と新しい乳房を作る再建手術を同時におこないます。乳がんが骨や筋肉に浸潤しておらず リンパ節や他臓器に転移していない場合は、この手術を受けることができます。

Q2. 一次再建のメリット・デメリットは？

最大のメリットは、一度も胸の膨らみがなくなることです。全身麻酔で眠っている間に乳房の切除と再建がおこなわれるため、目覚めた時点で乳房の喪失を強く感じることはありません。また、本来2回の手術が（それに伴う全身麻酔や入院も）1回になるため、体力的・経済的にも負担は少なくすみます。デメリットは、がん告知後すぐの精神的につらい時期に、再建についても考えなくてはいけないことです。再建手術を受けた方の話を聞いたり ゆっくり再建方法を決めたい方には二次再建（乳がんの治療がおわってから改めて再建する方法）をお勧めしています。



Q3. どこの病院でも一次再建を受けることはできますか？

一次再建では、乳がんを担当する乳腺外科医と再建を担当する形成外科医が、同じひとつの手術に入る必要があります。また再建方法として人工乳房（シリコンインプラント）を使用する場合は、特別な講習を受けた専門医の常勤も条件となります。当センターでは乳腺外科と形成外科が密に連携しており、人工乳房の取り扱い専門医も常勤しているため、安心して一次再建をご選択いただけます。

それぞれの価値観やライフスタイルに合った再建時期・方法をお勧めすることを心がけています。どうぞお気軽にご相談ください。



市立貝塚病院
TEL : 072-422-5865

形成外科 進藤 恵美